

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	環日本海諸国語 I (中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	0116			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	白水社「中国語はじめの一步」						
担当教員	星野 朱美						
到達目標							
(1) 子音、母音、音節などの中国語のピンインを発音することができるようになることを目指す。 (2) 簡単な文法を習得し、理解できるようになることを目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ピンインを見ながら、発音を正確に読める。			ピンインを見ながら、ほぼ発音を読める		ピンインを見ながら、殆ど音節を読めない。	
評価項目2	ピンインを見ながら、本文を正確に読める。			ピンインを見ながら、ほぼ本文を読める。		ピンインを見ながら、殆ど本文を読めない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
MCCコア科目							
教育方法等							
概要	(1)目標 子音、母音、音節などの中国語のピンインを発音することができるようになることを目指す。また、簡単な文法を理解できるようになることを目指す (2)概要 中国語に興味を持つように中国の文化、習慣を紹介しながら、発音の練習、簡単な文法、漢字とピンインを習得する。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義及び演習 予習、復習、課題を前提とし、講義を中心に進める。 「事前に行う準備学習」：授業前に必ず予習を行うこと。 「授業外学習」：予習と復習を行うこと。授業前に課題を完成すること。 学修単位の15時間課外学習について：教科書の練習問題と教科書に付属している問題集を授業外学習用課題として使用する。						
注意点	＜追認試験の評価方法と評価基準＞ 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあっては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバスの説明 ウォーミングアップ 1 ウォーミングアップ 1		(1) シラバスの説明 声調、単母音と子音を発音ができるようにする。		
		2週	ウォーミングアップ 2		複合母音と子音を発音ができるようにする。		
		3週	ウォーミングアップ 3		「前鼻音」と「後鼻音」を発音ができるようにする。		
		4週	ウォーミングアップ 4		数字を発音ができるようにする。		
		5週	第1課「あなたのお名前は」		人称代名詞の文を理解ができるようにする。		
		6週	第1課「あなたのお名前は」		指示代名詞の文を理解が出来るようにする。		
		7週	第1課「あなたのお名前は」		練習問題の解説 小テスト		
		8週	中間試験		1回から7回までの講義内容について、中間試験を実施する。		
	2ndQ	9週	第2課「これは何ですか」		動詞の文と 副詞の文を理解ができるようにする。		
		10週	第2課「これは何ですか」		「所有」の文を理解ができるようにする。		
		11週	第2課「これは何ですか」		練習問題の解説 小テスト		
		12週	第3課「貴方はどこへ行きますか」		助数詞の文を理解ができるをようにする。		
		13週	第3課「貴方はどこへ行きますか」		「指示代名」と「形容」の文を理解ができるようにする。		
		14週	第3課「貴方はどこへ行きますか」		練習問題の解説 小テスト		
		15週	期末試験		主に8回から14回までの講義内容について、期末試験を実施する。		
		16週	成績確認		(1) 期末試験の成績確認 (2) 授業評価アンケートの実施		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計

総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0